

ドリームちゅうおう

1

DREAM CHUOH
JANUARY 2023
No.300



今月号のCONTENTS

02 新年のご挨拶

04 新春企画 2023卯年 年男・年女 本年の抱負

06 青壮年部・女性会の活動紹介

07 地域情報発信室

08 トピックス

16 直売所探検隊「よってみたい菜」

17 JA information

18 あなたもチャレンジ! 家庭菜園 & 就農相談会

19 シェフ永井のおすすめ

20 クロスワードパズル



新年あけまして

おめでとぅございます

年頭のご挨拶

春



代表理事組合長

栗原隆政

皆様、新年あけましておめでとうございます。御家族お揃いで健やかに輝かしい新春をお迎えのこ

と心からお喜び申し上げます。
さて、引き続きコロナ禍とともにロシアのウクライナ侵攻も終息せず、物流・経済不安など世界的な混乱を招いています。さらに異次元の円安と重なり、諸物価が値上がりし農業生産でも資材が高騰するなど、農業・農村の存続に不

安が増しております。そんな状況下でも我々は過去の歴史において幾度となく危機を乗り越えてきた様に、新たな協同の輪を拡げ、共に手と手を取り合って協同による安心して暮らせる社会、平和な世界実現に向けて歩んでまいりたいものです。

そんな中で昨年の管内農業生産では、台風11、14号で果実の落果や野菜の倒伏などの被害は発生し

たものの、近年の頻発する自然災害の中では軽微で回数も少なく、比較的順調に推移しました。その結果、果実類は大玉傾向となりスイカ・メロン・梨・ブドウを始め青果物全般では21の品種品目で過去最高単価を記録し、組合長就任時以来、目標としていた累計100品種品目を超えました。さらに果実高単価時代を背景に、やはり高単価・多収量による10a販

売高が生産コストUPの吸収を実証しております。

一方、野菜は需給バランスの影響を受けやすく、果実同様品質の良さをアピールし価格の安定に繋げるため、大阪で中部農業みらい宣言とベジタブルフェアを開催いたしました。加えて物流業界に規制のかかる2024年問題に関連して、一番のポイントである地の利、新鮮さをPRするとともに、ブロッコリーを中心とした野菜振興に自信を持って取り組んでまいります。

水稲では作況指数99で平年作となりましたが、コシヒカリの一等米が低下しております。米価は昨年相対価格で3年ぶりに前年を上回り需給は締まってきており、本年の適正生産量は全国で昨年とほぼ同じ669万tに設定されました。管内では、販売計画に基づく昨年と同じ目標面積（実績比プラス133ha）を肥料価格高騰支援

の活用のもと確保してまいります。第12回全共鹿兒島大会では少し残念な結果でしたが、次回に向けてまずは管内の出品頭数を増やすべく県とも連携をとりながら、飛躍に向けて早期の準備を進めてまいります。

基本農政では、現在正しく食料安定供給のリスクが高まり、食料・農業・農村基本法の検証・見直しの検討が進んでおります。JAGグループとしては、平時を含む食料安保の強化を目的に、担い手の偏りを是正し、多様な経営体の位置づけ・役割と育成・確保を明記して、価格転嫁できる仕組みの構築を今回の最重点事項とし全力で取り組んでいく必要があります。また、食料自給率の向上を消費者に訴えております「国消国産」運動の拡大を発信方法も工夫しながら継続的な取組を展開してまいります。

組織基盤の確立強化を目指し、

長らくご愛顧賜りましたAコープ4店舗の閉店方針を決定しました。経営状況の悪化により苦渋の決断ではありますが、御理解をいただき最後までご利用よろしくお願い申し上げます。

本年は、歴史を重ね合併25周年とあぐりキッズスクール20周年の節目を迎えます。組合員の皆様と次代を担う子ども達に対する教育広報活動に一層力を入れるとともに、今後とも持続可能な経営を実現し農業振興に注力して、農業が元氣になれば地域が、そして組合員・JAも元氣になる元氣サイクルを回していくため、さらには行政からの経営に対するリスク管理監督の進化に対応するため、自己改革・経営改革の取り組みを進めてまいりますので御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございませう。年頭に当たり皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年も何卒よろしくお願い致します。

代表理事組合長
代表理事専務
代表理事常務

常勤監事
監事

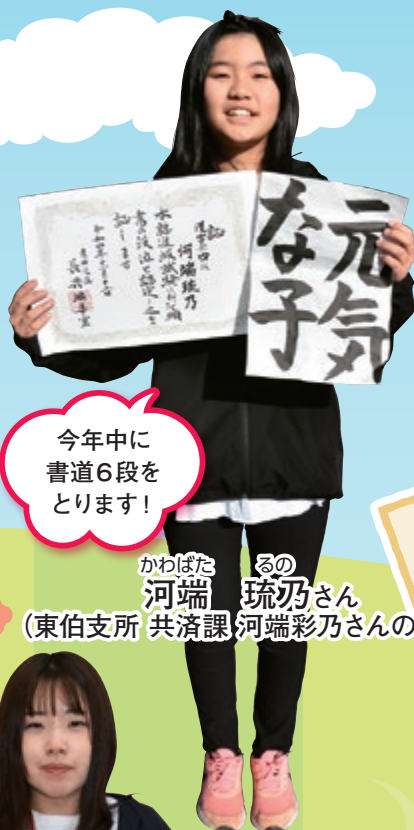
代表監事
監事

員外監事



栗原政則 増田美弘 嶋田敏信 山崎修治 林太郎 藤原章太 米本博幸 大崎謙一 上田武 中尾一郎 亀崎重博 齊藤幸彦 長崎裕之 新川山崎 片岡協二 岡崎裕和 西倉邦光 種籾長正 伊藤敦子 石見井 籾田見井 笠田見井 野田見井 濱田見井 津川見井 村岡見井 松岡見井 淀岡見井 前田見井 田中見井 牧田見井 佐田見井 池田見井 弘之

● 年女 本年の抱負



今年中に
書道6段を
とります!

かわばた るの
河端 琉乃さん
(東伯支所 共済課 河端彩乃さんの長女)



ブラボーな
1年にしたい!

やまもと ひろし
山本 展史次長
(JA北栄営農センター)



先輩みたいに
仕事ができる人
になりたい!

たなか ひな
田中 陽菜さん
(JA北栄営農センター 果実課)



コロナに
かからないように
頑張ります!

くわはら よしゆき
桑原 慶行さん
(JA本所 金融部融資課)



今年も元気に
皆さんのところに行き、
ありがとうございます!

たなか こうき
田中 光樹さん
(JA大栄支所 共済課)

卯年生まれあるある

- ①愛嬌がある
- ②器用で容量が良い
- ③ユーモアのセンスがある
- ④団体行動を好む
- ⑤負けん気が強い
- ⑥寂しがりや

新春企画
2023

卯年年男

金運・財運・仕事運・
勉強運・幸運が
上り調子の年でありますように

初心を忘れず、
仕事をがんばる！

たぐち しょうま
田口 翔真さん
(JA河北支所 共済課)

今年こそは、
偏食をやめて
健康になるぞ！

はしもと こたろう
橋本 小太郎さん
(共済部 普及企画課)

健康は
食事から！！

県大会で優勝して、
全国大会でも
良い成績を残したい！

(JA本所 金融企画業務課)
小谷 将大さんの長男
こたに いつき
小谷 一輝くん

ファイト！
ファイト！！

早寝・早起きで
がんばるぞ！

あいみ ももか
会見 百香さん
(JA三朝支所 共済課)

カラオケで、
お気に入りの曲が
うまく歌えるように
になりたい！

もりた たくや
森田 拓哉さん
(JA中央資材センター
資材部)

学生時代をしていた
「バドミントン」に
もう1度チャレンジしたい！

あべ みちこ
安部 路子さん
(生活部 生活課)



新年のあいさつ

JA鳥取中央青壮年部
委員長 森 広幸

新年あけましておめでとうございます。
青壮年部活動につきましては、日頃より格別のご協力を
いただきありがとうございます。
昨年の青壮年部活動に関しましては、コロナ禍でなか

青壮年部



か行えなかった、県外視察を開催できたことが良かった
と思っています。2023年も、コロナ禍ではありますが、その
中でも盟友が参加しやすい行事を取り入れ、明るい地域農
業づくり、盟友間の仲間づくり、情報交換などに全力投球
していきたいと考えています。今後とも、よろしくお願い
いたします。

10月12・13日

視察研修

青壮年部は、本部活動として視察研修を開催しました。
盟友13名が参加し、千葉のJA長生でトマト、梨、サツマ
イモのほ場へ行きました。

今回のメインとなったサツマイモのほ場視察では、耕
作放棄地を畑へ戻し、採れたサツマイモを焼酎にしてい
ます。

夜には、盟友間で意見交換会と懇親会を開き、JA長生
の盟友と農業談義で盛り上がり、有意義な時間を過ごし
ました。

森委員長は「来年はぜひ鳥取に来てもらい、鳥取の農業
を見てもらいたい。この縁を大切に交流を続けていきな
い」と話しました。



千葉県のJA長生のほ場を視察している様子



新年のあいさつ

JA鳥取中央女性会
会長 遠藤 聖子

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、JA鳥取中央女性会活動に多大なるご支援、ご協力をいただき
ありがとうございました。
昨年の活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な制限を受
け、第24回JA鳥取中央女性会通常総代会も、書面議決での承認となりまし
た。そのような状況の中、「各支部活動・専門部会・地域内交流会」の開催や、
「JAとっとり女性協議会レシピ集」を作成しました。レシピ集では、その地
域の食材を生かし次代に繋いでいく「地域に伝わる郷土料理」などを載せま

女性会



した。各支部会員の皆さまの協力があってよい冊子ができました。
女性会の地域貢献活動では、「米一握り運動」と「会員一人一枚雑巾運動」
を実施し、各支部で社会福祉協議会や学校、こども園などに寄贈して喜ばれ
ました。
女性会の会員拡大運動では、女性会活動のお試し体験企画として、各支部
で「料理教室」等を行い、活動に興味のある方のご参加をいただきました。女
性会の会員には、特典として「花の苗プレゼント」や、「直売所での5%割引」
があり、今年も多くの方の加入をお待ちしています。
Withコロナ時代においても「できることからはじめよう」を合言葉に、J
Aと共に楽しく魅力ある活動をしていきたいと思います。今年もよろしくお
願いします。

11月1日 女性会旅行 ママさん大学

JA鳥取中央ママさん大学は日帰り旅行を行い、女性会の会員約40人が
参加しました。

はじめに若桜鉄道に体験乗車し、車窓からの田園風景を楽しみました。昼
食後には、青谷上寺地遺跡展示館を見学し、弥生時代の生活などについて知
識を深めました。次に、あおや和紙工房へ移動し、紙すき体験に挑戦。はがき
サイズの紙すきに好きな色紙を並べ、乾燥させて各自がそれぞれ個性溢れる
作品を作りあげました。参加者は「楽しかった。また来年も参加したい」と話
しました。



紙すき体験の様子

今回の地域情報発信室は、倉吉市出身の漫画家で日本漫画家協会会員のかわにしよしとさんをご紹介します。子どもの頃から絵を描くことが好きだったというかわにしさん。小学校時の担任で版画家の長谷川富三郎先生に絵を褒められたことがきっかけで絵の仕事に携わるようになりました。美大受験の失敗からアカデミックなものを諦め、漫画家やサブカル的な絵の仕事を目指すようになったといいます。浪人中に東京でアニメーション制作のアルバイトなどで経験を積

み、ビッグコミック「第1回4コマフェスティバル最優秀新人賞」や「第27回ミニミニ絵画展ユニーク賞」などを受賞。テレビガイドの似顔絵イラストがきっかけとなって読売新聞で政治漫画を12年、似顔絵を含めて24年間同紙に掲載されました。「3時間でその日のニュースを選び、ギャグに替えて作画するという政治漫画を含め、この読売新聞での24年間がもっとも大変でしたが、充実した期間だったように思えます」と当時を振り返ります。「単行本化はされず、ネットでは『未コミック

ス化の巨匠』と揶揄されながらも長い間、漫画やイラストを描き続けてこれたのは『描くことが好き』という気持ちがいっつもあったからだと思っています。漫画は自分の弱点を元にあるある路線で描いていたので、読者から良い反応があると弱い自分に対して共感を得たような思いになりますね」と話します。

読売新聞での連載が終わったのを機に、念願の絵本制作に取り掛かったかわにしさん。「絵本を描きます」という長谷川先生との約束がこれでやっと果たせました」と作品には特別な想いが込められています。5年の歳月を費やして完成した絵本「いろいろなにのいろいろさん」は中国でも翻訳出版されているとか。

これから漫画作家を志す人へ向けて「編集さんによく言われたことは、『絵は続けていれば自然と上手くなる』（私は例外でしたが）ということです。大事なのは、本などをたくさん読む、映画・音楽等で知識を深める、漫画のネタになるようなアイデアや発想力を鍛えることです。常識を知らないと非常識な面白さは描けないので一

般常識・教養を身に付けることも大切ですね。私にこれが出て来ればと悔やまれます」とユーモアたっぷりのアドバイスをいただきました。

現在は、数々の紙誌で似顔絵を描いてきた経験を活かして鳥取県立美術館応援事業でもあるペーパーギャラリー「似顔絵まちなか美術館」に取り組んでいます。まちなかを楽しくしようと、現在県内600人超の方々の似顔絵を作成しました。「似顔絵まちなか美術館」の増設を目指してこれからも頑張ってください。応援しています。



かわにしよしとさん
(倉吉市)

新聞での政治漫画の仕事が
私の漫画の世界を
変えたように思います。



「くらよしかすりちゃん」
市報くらよしにて連載中です

年金友の会グラウンド・ゴルフ大会

10/26 羽合・泊

人数：38名 場所：燕趙園多目的広場



【個人】

優 勝	山口むつ代
準優勝	吉 田 清 昭
3 位	伊藤世都子

左から、
伊藤さん、山口さん、吉田さん

11/10 久米支所灘手地区

人数：20名 場所：お台場公園



【個人】

優 勝	伊 藤 裕 章	41打
準優勝	井 谷 睦 子	42打
3 位	筏 津 栄	42打

左から、
筏津さん、伊藤さん、井谷さん

11/16 久米支所北谷地区

人数：20名 場所：久米農村広場



【個人】

優 勝	古 林 福 子	31打
準優勝	牧 伊 津 子	36打
3 位	丹 後 町 子	36打

左から、
牧さん、古林さん、丹後さん

11/17 大鴨支所

人数：30名 場所：大御堂廃寺跡



【個人】

優 勝	田 中 洋 一	36打
準優勝	青 木 道 男	37打
3 位	新 田 妙 子	38打

左から、
青木さん、田中さん、新田さん

11/18 久米支所高城地区

人数：16名 場所：レークサイド大栄



【個人】

優 勝	杉 本 信 樹	51打
準優勝	杉 本 早 苗	62打
3 位	阪 本 常 義	63打

左から、
杉本早さん、杉本信さん、阪本さん

11/24 いきいき農業塾 玉ねぎの植え付け



みんなで協力して苗を植えます

J A鳥取中央は、倉吉市のバイテクセンターで11月期の農業塾を開きました。

営農指導員がタマネギの主な品種とその特徴、また植え付けする際の注意点などを説明。その後、下中営農アドバイザーの指導の下、15人の参加者は、順番に鍬で畝を作り、マルチをひいて、協力しながら「もみじ3号」「猩々赤」の2品種を定植しました。

初めて農業塾に参加した塾生は「鍬を使うのも、マルチをひくのも初めてで勉強になった。家で実践したい」と話しました。

11/27 人形ぬいぐるみ供養祭



祭壇に並べられたたくさんの人形を供養しました

J A鳥取中央はJ Aメモリアルホール報恩舎で、人形・ぬいぐるみ供養祭を執り行いました。

自宅で永年愛着を持ってかわいがられた人形・ぬいぐるみ約5,200体を、倉吉仏教会の僧侶7人の読経のもと丁寧に供養しました。

人形を持参した参加者は「供養することで安心して人形を手放すことができる」と感謝を述べました。

栗原隆政組合長は「地域貢献活動の一環として、今後も継続して取り組んでいきたい」と話しました。

12/14 倉吉地区女性会がお米・雑巾を贈呈



贈呈式の様子

J A 鳥取中央の倉吉地区女性会（河北、倉吉、大鴨、久米、関金支部）は社会貢献活動の一環として同市社会福祉協議会へ雑巾・ふきん約300枚と「星空舞」などのお米約170kgを贈呈しました。

これらは、各地区の「ふれあい給食サービス」に届けられ、定期的に行われるボランティア活動に利用されます。

大鴨支部会長の山本恵子さんは「会員たちが一枚一枚気持ちを込めて、手縫いやミシンで雑巾を作製しました。大切に使用していただけたら嬉しいです」と話しました。

12/7,9 役員による意見交換会



栗原組合長による意見交換会の様子

J A 鳥取中央は、組合長をはじめ常勤役員が組合員との関係強化を図るため、意見交換会を行っています。7日には蔵増保則専務が倉吉市で、白ネギを生産する前田直樹さんを、9日には、栗原組合長が湯梨浜町でスイカ、ホウレンソウ生産者の藤井敏裕さんと話し合いました。

前田さん：
繁忙期の人材確保が困難になっている。防除などで作業の合理化進めたい。

蔵増専務：
ドローンを活用した空中散布防除など、農作業を請け負う組織との連携を図っていく。

藤井さん：
生産者の高齢化が進む中、空き施設や農地が増えている。

栗原組合長：
J A 鳥取中央農業人材紹介センターで情報を提供し、マッチング行っているの相談してほしい。

11/12・13 第13回 J A鳥取中央杯 学童軟式野球大会

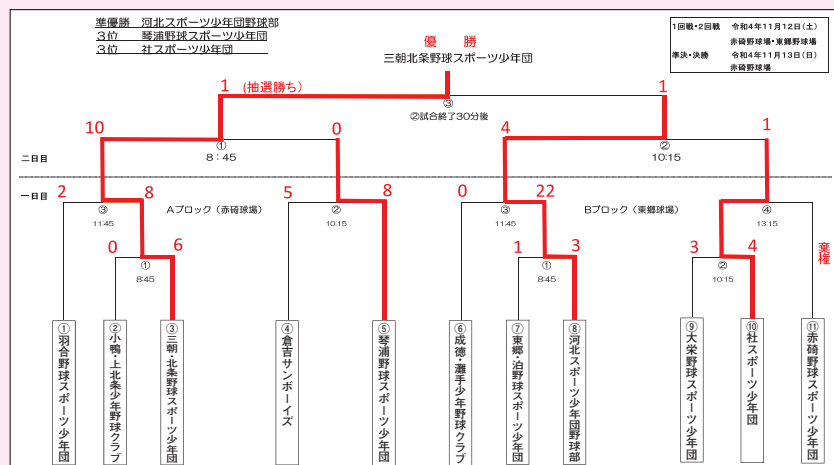
管内11チームが、琴浦町赤碓野球場と湯梨浜町東郷野球場の2会場で、栄光の1位を勝ち取るため、熱戦を繰り広げました。

同大会は、地域貢献活動として、次代を担う児童の健全な心身の育成と地域スポーツの振興を目的に開催しています。

結果は以下の通りです。



優勝した三朝・北条野球スポーツ少年団



準優勝の河北スポーツ少年団野球部

11/22 梨の黒星病対策に！ 落葉収集機の実演会開催



広い園地の落ち葉を短時間で回収



集めた落ち葉もモアに乗ったまま捨てることができます

鳥取県とＪＡ鳥取中央は、乗用モアで牽引して落ち葉を収集する落葉収集機（スーパー）の実演会を、湯梨浜町と北栄町、倉吉市でそれぞれ行いました。近年、面積が拡大している梨「新甘泉」「王秋」で多く見られる黒星病は病原とされる“子のう胞子”が、落ち葉上に形成されたまま越冬するため、落葉処理を省力化する方法として紹介。県内では、初の実演会となりました。

黒星病は、発生すると葉に黒いすすが付き果実に感染すると著しく品質が落ちる病気で、県内でも、蔓延している果樹園が出てきています。予防するには園内の落ち葉を集め、埋めたり焼いたりして胞子が飛散する翌春までに菌密度を下げるのが重要とされますが、熊手やブロワーで落ち葉を集めるのは時間と手間がかかります。

スーパーは、既存の乗用モアに取り付けるだけで使うことができ、タイヤを動力として回転するブラシで落ち葉を浮かせ、後方の集草バッグに集める仕組み。バッグ内がいっぱいになってもモアに着座したままでも楽に中身を捨てられます。

メーカーによると、手作業の約30倍の作業効率で収集が可能になるそうです。

参加者は「こんな機械があるとは知らず、興味があって見に来た。障害物がない園には便利そう」と話しました。

12/2 クボタコンバイン技術研修会



故障の原因を探る参加者

ＪＡ鳥取中央子会社のＪＡ中央サービスの職員約10人が倉吉市で、ＪＡ中部農機専職協議会が主催するクボタコンバイン技術研修会に参加しました。

㈱中四国クボタの協力のもと、「エンジンがかからない」、「バックブザーが鳴らない」など作業中に起こる不具合を想定し、原因の究明や対応力の向上について知識を深めました。

参加者は「研修での経験を活かし、敏速な対応を心掛け、今後のサービス向上につなげたい」と話しました。

11/29 子ども食堂へ農畜産物引換券を贈呈



沖さん(右)へ引換券を手渡す栗原隆政組合長

ＪＡ鳥取中央は倉吉市で、同市社会福祉協議会を通じて子ども食堂へ同ＪＡ管内の直売所で使用できる農畜産物引換券を贈呈しました。地域住民に安全・安心な食材を使った食事の場を提供し、地域コミュニティの輪を広げ、地域共生社会の実現に寄与することを目的としています。ＪＡ自己改革の「地域貢献」、「食農教育」の観点から今回新たに「子ども食堂パッチワーク」の支援を開始。同食堂で料理長を務める沖美和さんは「ご近所とのつながりを大切に、たくさんの人たちが安心できる暖かい場所にしたい」と話しました。



12/7

吊るさず作る干し柿 「ころ柿」生産ピーク

出荷までに2か月かけて作ります

J A鳥取中央柿生産部では、吊るさず網の上に並べて乾かす干し柿、ころ柿作りがピークを迎えています。作業は年明けまで続き、京都、広島、県内へ出荷します。

田村幹雄さんは70aで柿「西条」を栽培。今年は豊作で、不作だった昨年の倍の7万個の出荷を予定し10月から収穫を始め、12月から出荷を開始しました。皮を向いて乾燥機で4日間乾かした後、ハウス内の網の上で水分量が25～30%になるまで、たまに揉みながら乾かします。田村さんは「完全無添加なので安心して食べてほしい。チーズやハムをはさんで食べるとおいしい」と話します。同部は干し柿を3t、650万円の出荷、販売を目指します。

11/28 白ネギ 出荷目合わせ会



みんなで出荷規格を確認しました

J A鳥取中央白ねぎ生産部はJ A河北支所で、目合わせ会を行いました。同部役員と、同J A担当職員、J A全農とつとり16人が参加。管内にある産地の秋冬ネギを持ち込み、品質と出荷規格の統一を図りました。生育状況の報告では、倉吉（関金）・北栄・琴浦のどの地区でも、病害虫は特になく、2L中心で出荷量も多く出ていると話し、琴浦地区では、加工用の販売が好調と説明しました。

同部の井上寿樹部長は「各地区の生育状況を確認できてよかった。今後も品質を維持できるよう協議しながらJ A鳥取中央の白ネギを売りこんでいきたい」と話しました。

12/5

1日農業バイト求人アプリ「day work」利活用説明会



説明会では動画で使い方を学習



実際にインストールし、アカウントを作成しました

J Aグループ鳥取農業労働力支援協議会は北栄町で、管内の生産者を対象に、農家と1日単位で働ける人材をマッチングするアプリ day work の研修会を行いました。

アプリに関心をもった管内の農家20人が参加し、実際にアカウントを作成するなどして使い方をレクチャーしました。

研修会では、アプリの使い方や運営されてからの4年間分のマッチング率などを紹介。参加する半数以上が、本業をもっていながら副業として応募していることや、スマホを使用することから20～40代の比較的若い世代が良く利用していると説明しました。

同協議会によると、鳥取県ではこれまで255人がバイト成立しており、マッチング率は78%に上るといいます。しかし11～12月は、県内で求職者登録者が100人以上いるにも関わらず、バイトの募集が少なくもったいない状況が続いているとして、アプリの活用を促しました。

参加者は「登録など簡単にできた。今の時期だと、ほうれん草の収穫や出荷の調製作業で忙しいが、日曜日はどうしても人が集まりづらいので、使ってみたい」と話しました。

11/26 准組合員の集い



栗原組合長の挨拶



ねばりっこの収穫体験をする准組合員

J A鳥取中央は北栄町で「准組合員の集い」を開き、約30人が参加しました。

准組合員を「地域の応援団」と位置づけ、J A事業や地域農業への理解を深めてもらい、持続的なJ A組織基盤の強化を図ることを目的とします。

最初にJ Aの理念や事業内容、地域貢献活動などを紹介し、管内で生産される農畜産物をPRしました。

出荷が始まった「長芋・ねばりっこ」の選果場の視察研修や圃場での収穫体験を行いました。

参加者は「J Aの総合事業を知らないことが多く勉強になった。収穫体験で農業の喜びや苦労を感じた」と話しました。

J Aの栗原隆政組合長は「准組合員は各支所の運営委員や直売所のモニターとしても意見をいただいている。今後もJ Aを応援団するパートナーとして事業利用し意見して欲しい」と話しました。

12/9 倉吉西瓜生産部会総会 10a当たり販売高過去最高を記録



挨拶する岸本健志部会長

J A鳥取中央倉吉西瓜生産部会は倉吉市で、令和4年度倉吉西瓜生産部会総会を開き、23年度の取り組みなどを決めました。

令和4年度は販売金額が前年を約2億円上回る13億3,333万円で、10a当たりの販売高は135万5,000円と過去最高を記録しました。

産地の顔が見えるキャンペーンも少しずつ再開、好天に恵まれ、気温も高く、販売環境など有利に働いたことが高単価につながりました。

令和5年度は新規就農者が5人加わり124人で106haを栽培し、3万6,500ケース（1箱約15.5kg）14億円の出荷、販売を目指します。

西瓜選果場運営は、機械トラブルにより機械の停止時間が増えており、機能向上工事を計画。ロボットパレタイザー（パレット上に荷物を積込む機械）新設、機械の更新など2024年6月の工事完了予定を報告しました。

12/6 北栄ドリーム農場でイチゴの収穫が始まりました



全体が赤く色づいたイチゴを丁寧に収穫しています

J A鳥取中央と北栄町が共同出資して設立した北栄ドリーム農場では、今シーズンのイチゴの収穫が11月中旬から始まりました。同農場では83aで、「紅ほっぺ」と県オリジナル品種「とっておき」を栽培しています。

定期的に計測している糖度は平均12～13度と糖度がのっており、昨年以上に甘みと酸味のバランスの良いできに仕上がりました。12月上旬は1日に約400パック（1パック250g）をJ Aを通してスーパーや直売所に出荷し、また大江の郷へも出荷しています。収穫は6月初めまでで、ピークは3、4月頃を見込んでいます。3月には観光農園を開園する予定です。今年は、33.2tの出荷、4,920万円の販売を目指します。

11/29 今年産ラッキョウ販売高3年ぶりに6億円を超えました！



販売反省会の様子



挨拶する天野部会長

J A鳥取中央らっきょう生産部会は湯梨浜町で、令和4年度ラッキョウ販売反省会を開きました。コロナ禍で市場関係者らが一堂に集まったのは3年ぶりで、部会役員や取引市場19社、行政など46人が、今年産の販売実績や市場の動向について協議しました。今年産は960 tを出荷し、6億1,467万円で販売を終了しました。6億超えは3年ぶりとなります。

今年産の販売は、後半、単価安となり苦戦する場面もありましたが、初販売日からの3週間は昨年並みの高値で推移したため、昨年より販売額が4,993万円も増加しました。市場からは「全体的に品質が良かったためクレームもなくスムーズな販売ができた。出荷開始と終了時期を早めに教えてもらえれば売り場確保の準備ができるため、早めの情報提供をお願いしたい」と意見が出た。

同部会の天野英次部会長は「今年は3年ぶりに6億を突破することができ、市場の皆さんと一緒に喜ぶことができてよかった。資材コストが高騰しているため、生産者が意欲が湧くような販売につなげたい」とあいさつしました。



香港の量販店で販売されている様子

大栄メロン香港で輸出販売

大栄抑制メロン部会では、赤肉メロン「プリモレッド」を令和3年からJ A全農とつとりを通じ、香港への貿易出荷を試験的に開始しています。令和3年は試験出荷ということもあり400ケース（1ケース8kg箱）の出荷でしたが、令和4年は当初500ケースの計画のところ、大きく上回る1,622ケースを輸出しました。

令和5年については栽培戸数及び面積の増加を見込んでおり、輸出の取組みを強化することで国内相場の維持と単価の安定化を図っていきます。また、J A全農とつとりを通じてSNSやライブ配信を行い、産地PRや販路拡大に繋げていきます！

12/12~14 令和4年度下期支所合同運営委員会



委員会の様子

J A鳥取中央は、管内5カ所で3日間に渡り、支所合同運営委員会を開きました。

各事業の実績報告や、進捗状況、肥料高騰対策やJ Aの経営基盤の強化に向けた取組みについて説明。質疑応答では、「インボイス制度について、少量出荷の生産者などにも理解しやすい説明会を行ってほしい」などの意見があがり、J Aの選果場に出荷をすれば課税事業者として登録する必要はないと説明したうえで、「今後、直売所や総会などで説明の時間を設け、皆様に理解していただけるよう努めていく」と回答しました。

の活動



11/17 東伯支部 下郷女性会 研修

女性会東伯支部は、研修旅行として、大江の郷で買い物を、鳥取みたき園では山菜料理の食事と周辺を散策をしました。

研修旅行は、会員同士の親睦を深めるため、年に1度開催しており、一昨年は花回廊、昨年は鳥取の賀露でカニ料理を食べに行くなどして交流を図っています。

会員からは「天気に恵まれ、道中の紅葉がきれいだった。満喫できて日頃の疲れが癒された。来年も参加したい」と好評でした。



食事をいただく会員たち

11/25 大栄支所 クリスマスリースづくり

女性会大栄支部は、北栄町で、クリスマスリース作りの教室を開きました。

講師を務める倉吉で花屋をされている「ぱんだすみれ」の藤戸命子さんのアドバイスの下、会員16人は和気あいあいと作業を行いました。

初めてリース作りに挑戦した会員たちは、苦戦しながらも、それぞれのセンスでリースを仕上げていきました。

クリスマスリースは、生花からドライになり、家の魔除けとして、長い間楽しめるそうです。

会員たちは、来年も作りたいと話しました。



おしゃれでかわいいリースが完成しました

12/6 三朝支部 会員研修会

女性会三朝支部は三朝町で、会員研修会を開き約20人が参加しました。

講師として鳥取県警察本部 特殊詐欺被害防止アドバイザーの堀場法之さんが「なぜ騙される」と題した講演を行い、実際にあった事例をもとに誰もが被害者になる可能性を学びました。

次に、斉木真由美さんを講師にクリスマスリース作りも行われ、「ナンキンハゼ」や「サルトリイバラ」、「ヒマラヤ杉の実」などをアクセサリとして使い、素敵なリースを完成させました。



デザインを話し合う参加者たち



11/17

東郷支部 東郷小学校で料理教室

女性会東郷支部は、湯梨浜町立東郷小学校で「料理実習教室」を開きました。

地元の食材で児童と共に調理学習に取り組み、料理の楽しさや地産地消について知ってもらおうと同校の3年生と同部会員約30人が参加。同部会員から食材の切り方や調理具の使い方などを教わりながら「梨カレー」や「梨コンポート」、「3色ピクルス」の計3品を調理しました。

児童たちは「梨のおいしい食べ方がわかった。家でもう一度作ってみたい」と楽しそうな表情を見せていました。



少し緊張気味の児童

11/16:30

久米支部えがおグループ ちりめん細工教室

女性会久米支部えがおグループは倉吉市で、「ちりめんの鏡もち作り」教室を開きました。

16日と30日の2回に分けて行われ、合計約20人が参加しました。

講師の明里美也子さんからユーモアを交えた楽しい指導を受けながら、会員たちは新年が明るく幸せの多い年となるように、願いを込めて丁寧に作り上げました。

「作っても、飾っても楽しめて、和室や玄関、リビングのインテリアにもピッタリ」と参加者たちは満足そうに話しました。



素敵な作品が完成しました！

12/2

女性大学ルミナール クリスマスリース作り

J A 鳥取中央は、第10期女性大学ルミナールの第2回カリキュラム「クリスマスリース作り」を倉吉市で開き、受講生10人が参加しました。

花と雑貨のお店「ぱんだすみれ」の藤戸命子さんを講師に迎え、リースの土台にポポラスやブルーアイス、薩摩杉をワイヤーで巻きつけ、木の実や松ぼっくり、リボンなどを飾り付けて素敵な手作りリースを完成させました。

参加者は「クリスマスにふさわしいリースができて嬉しい。香りも良く、玄関に飾って楽しみたい」と話しました。



素敵なリースが完成しました！



新年のあいさつ



JA鳥取中央
直売所運営協議会
会長 中原一男

新年あけましておめでとうございます。皆様におきましては、多岐にわたる年になりますように祈念申し上げます。昨年は、大きな災害に見舞われることなく農産物が栽培しやすい年でした。本年も災害の少ない年であるように祈りたいものであります。また、新型コロナウイルスの猛威が依然として続いておりますのでワクチン接種など対策を行い健康的に過ごしていきましょう。

皆様には日頃より直売所を利用していただきありがとうございます。また、生産者の皆様におかれましては、安全、安心な農産物の生産、出荷に努めていただき感謝申し上げます。今後とも私どもの直売所会員一同は新鮮で安全、安心な農産物の生産出荷に努めてまいります。

本年も各種イベント等を開催し消費者の皆様との交流を深めてまいりますのでより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後となりましたが、消費者の皆様、生産者の皆様のより一層のご健勝を心より祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

直売所探検隊



旬鮮プラザ よってみたい菜

倉吉市八屋150-1 TEL/47-4197
定休日/1/1~1/4 営業時間/9:00~18:00

兄弟で農業をしています。先に就農したのは弟の私なんです。学校卒業後、製造業の仕事をしたながらも与えられる仕事でなく、自分でなにか始めたいという想いが常にどこかにありました。それが徐々に強くなり、4年前に勤めを辞め心機一転、農業の道に入りました。

昨年より農家に就職し実践を積みながら、兼業農家として就農し、とにかく目新しい物、人が作っていない、これから注目されそうな作物に目を向けました。例えば、メキシカンサワーキンツで知ってます？（スイカみたいな小つちやなキュウリ）とかオカワカメなど、1年目は超マイナー作物での勝負を考えました。2年目は休耕田に穴を掘って「どじょう」の養殖（稚魚1万尾）にも1年ですがトライしました。魚が好きだったので笑。そんな2年が過ぎ、昨年からはツマイモ（紅はるか）に挑戦していま

農家でやっていくには葉物野菜よりも類の方が収穫適期が長く作りやすいんです。兄弟では、作る方は弟の私、売る方は兄で感じてやっています。今日も、始めたばかりのインスタに料理屋さんからDMをいただき、「紅はるか」を届けてきました。販売は直売所が中心ですが、私は農業で独立して生活できる金額を設定していきたいんです。出来た生ものを売るだけでなく、六次産業化として、加工したもの、例えば、焼きいも、干芋、マッシュポテトなど付加価値のある物を出すことも考えています。インスタには「agrifarmcan」の名称で発信もしています。既存の農業でなく新しい農業がしたい、3Kのイメージを変えたいそんな思いも含まれています。その先には、会社化も視野に入れながら、でも失敗したときの対応も考えながら、家庭を壊すことなく家族の協力を得ながら挑戦は続きます。

あまーい誘惑「べにはるか」をご賞味ください



ひげが弟(左) 兄がメガネ(右)
これが私たちのトレードマーク



チェンジアグリカルチャーネオスC.A.N
新しい農業を目指して

山根 一也さん(兄)
驚見 真宏さん(弟)

JA直売所 年末年始の営業日・営業時間のお知らせ

天候により各店舗営業時間が変更になる場合があります。

あぐりポート琴浦

営業日 年末・12/31(12:00)まで
年始・1/5より 営業時間 9:00~17:00

旬鮮プラザ満菜館

営業日 年末・12/31(12:00)まで
年始・1/5より 営業時間 9:00~18:00

ハワイ夢マート

営業日 年末・12/31(12:00)まで
年始・1/5より 営業時間 9:00~18:00

旬鮮プラザよってみたい菜

営業日 年末・12/31(12:00)まで
年始・1/5より 営業時間 9:00~18:00

楽市楽座

営業日 年末・12/30まで
年始・1/5より 営業時間 8:30~17:00

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

連作障害対策

連作障害の出やすい野菜・出にくい野菜

エンドウやスイカは一度栽培すると、4～5年間は栽培不振となります。サトイモ、トマト、ナスなどは3～4年間、イチゴ、レタスなどは2年間、ネギ、ホウレンソウなどは1年間休耕する方が良いとされます(下表を参照)。

一方、カボチャ、サツマイモ、タマネギなどは連作障害が出にくい野菜とされますが、なるべく連作は避けた方がよいでしょう。

野菜類の栽培休止期間の目安

栽培休止期間	野菜名
1年間休止	ネギ、ホウレンソウ、カブ トウモロコシ、ズッキーニ インゲン など
2年間休止	キャベツ、キュウリ、ジャガイモ ニンジン、ハクサイ、ブロッコリー イチゴ、セルリ、レタス など
3年間休止	エダマメ、サトイモ、トマト、ナス ピーマン、ショウガ など
4～5年間 休止	エンドウ、スイカ(実生苗)

同じ場所で同じ野菜を連続して栽培すると、年々に生育不振となり収量や品質が低下します。連作して起こる生育不振現象を“連作障害”といいます。

連作障害の原因はさまざまで、病害が原因の場合が多いとされますが、土壌の環境悪化による場合もあります。

今回は連作を嫌う野菜を確認することと、連作障害を回避する『輪作』の手法を紹介しますので、今後の野菜栽培の参考にしてください。

畑のローテーション

連作障害を防ぐ方法としては、土壌消毒や土壌改良などの方法もありますが、病害を避けて地力を維持するための一番簡単な方法は「輪作」です(下図を参照)。

下図のように、畑を4ブロックに分け、作りたい野菜を「ナス科(トマト、ナス、ピーマンなど)」「ウリ科(キュウリ、スイカ、カボチャなど)」「イモ類(サツマイモ、サトイモなど)」「アブラナ科(キャベツ、ハクサイ、ブロッコリーなど)」にグループ化して、1年ごとに作付けするブロックを変更すると良いでしょう。

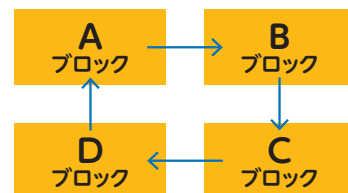


図 連作障害を回避する畑のローテーション



毎月
第2水曜日
開催!

JA鳥取中央 就農相談会

新規就農を検討されている方・農業に興味がある方
ぜひ、お気軽にご相談ください!!

農業に興味があるけれど、実際にどんなことをすればいいの?

土地も農機もないが、農業は始められるの?

就農に関する助成金の制度はあるの?

日時:2月8日(水) 13:30～16:00

JA鳥取中央 本所 2階(第2会議室)

※相談会の参加には事前申し込みが必要です。まずはお電話を!



農地の貸し借りについても
ご相談ください!

■営農支援課 農業人財紹介センター
☎0858-24-6429

表紙の写真説明



今回の表紙は、女性会上井支部の手芸教室で作られた、手作りのうさぎです。取材で完成した作品の記念写真を撮影している時、ドリームちゅうおうの新年号の表紙ぴったりなのではないかと思い、講師の明里美也子さんから、お借りしてきました。明里先生は「うさぎの目は邪気を払い、子孫繁栄にもつながるということでとても縁起のいい年でもあるので、皆さんが良い年を迎えられるようお願いを込めて作りました」と話します。

皆様にとりまして卯年がピョンピョン拍子で何事もうまくいく年になりますようお祈り申し上げます。



シェフ永井 のおすすめ



なが い とも かず
永 井 智 一
茨城県笠間市にある
「天晴(旧キッチン晴人)」
オーナーシェフ

カキとセリの卵とじ

材 料(1個分)

カキ……………80g
セリ……………1/4把
溶き卵……………1個分
粉さんしょう……………適宜
ご飯……………茶わん1杯(200g)
だし { かつおだし……………60ml
薄口しょうゆ……………小さじ1
みりん……………小さじ1

作り方

- (1) カキはよく洗い水気を取っておき、セリは1cmのざく切りにする。
- (2) 小鍋にだしの材料を入れ、沸かして火を止める。
- (3) (2)にカキを入れ、中火で2、3分煮て溶き卵でとじ、セリを散らし30秒ほどふたをする。
- (4) 器にご飯を盛り付け(3)を上のにせ、粉さんしょうを振りかけ出来上がり。



※キリトリ

●アンケートにお答えください。

「ドリームちゅうおう1月号」良かった記事は?(複数回答可)

- | | |
|--|---|
| ☐ 表紙 | ☐ トピックス |
| ☐ 年頭のご挨拶 | ☐ 直売所探検隊 |
| ☐ 卯年男・年女本年の抱負 | ☐ あなたもチャレンジ!家庭菜園 |
| ☐ 青壮年部・女性会の活動紹介 | ☐ シェフ永井のおすすめ |
| ☐ 地域情報発信室 | ☐ クロスワードパズル |

良かった理由:

●クロスワードパズルに応募される方はお書きください。

(※応募されない方は空欄で構いません。)

「クロスワードパズル」の答え

A	B	C	D	E

※クロスワードの正解者の方には、抽選で「イチゴ」をプレゼント致します。

●次号のお便りのお題「お金をかけない休日の過ごし方」を教えてください。また、「暮らしをうたう川柳」への応募、JA鳥取中央グループに対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

(ペンネーム:)

※ドリームちゅうおう誌面にて発表することがありますのでご了承ください。

※キリトリ

JA中央サービス 新春ドリームフェア 中止のお知らせ



平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

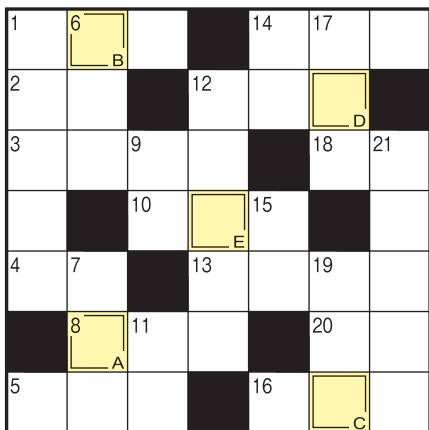
開催を予定しておりました

「新春ドリームフェア2023」

につきまして、諸般の事情により開催を見送らせていただくこととなりました。開催をお待ちいただいている皆様には誠に申し訳ありませんが何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。尚、代替イベントの開催を予定しております。詳細が決まりましたら改めてご案内致しますので、よろしくお願い致します。

アタマの体操
クロスワードパズル
今月のプレゼントは
イチゴ

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



A	B	C	D	E



12月号の答え

フリソデ

タテのカギ

- 2月の誕生石・アメシストは紫色の——です
- 刻みたばこを詰めて吸う道具
- Lが大ならMは
- こうなった——を知りたいなあ
- 暖炉にくべます
- 3度の食事以外に食べるもの
- バレンタインデーに実らせる人もいます
- 囲碁や将棋の指し手の記録
- 百貨店の——ガイドで目当ての売り場を探した
- 昆布と——節でだしを取った
- 例年2月4日ごろ。暦の上ではこの日から春です

ヨコのカギ

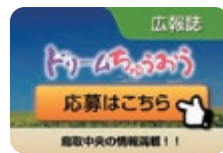
- ウインタースポーツの代表格
- 旧国名の1つ。現在の三重県の大部分
- お吸い物などを入れる器
- 鬼は外、福は——
- 掃除道具の1つ。魔女がまたがれば飛べるかも？
- 車のフロントガラスに付くとギラギラして厄介です
- 旅先で眺めることもあります
- もむと温くなるタイプもあります
- 遅い時間まで寝ずにいること
- 仁徳天皇陵もこの1つ
- 水分補給に役立つ——飲料は、電解質を加えてあります
- 働き者だといわれる昆虫
- 天ぷらを天——に漬けて食べた

応募要項

下記「応募ハガキ」に、クイズの答えをお書きの上、応募締切までに切り取ってポストへ投函するか、各支所へお持ち下さい。
※通常ハガキ・FAX・メール・HPからも応募可能です。クイズの答えの他「良かった記事・住所・氏名・電話番号」をお書きの上ご投函下さい。

- 応募締切 1月16日(月) 当日消印有効
- 応募先 〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
- FAX 0858-23-3070
- Eメール kouhou@ja-tottorichuou.or.jp

※当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。



HPでも応募できます



中四国版
紙面には、JA
鳥取中央の記事が
随時掲載されて
います！
ぜひご覧ください!!

お近くの新聞販売店
から毎日お届けします。

購読料 月極

2,623円(税込)

— 購読のお申し込みは、各支所 組合員課までお問い合わせください。 —



購読料 年額

8,782円(税込)

誌代1年分を
年間予約として
購読料をお支払い
いただくと普通月号
1か月分が無償
となります

※原則として、年間予約購読(前
納)の中途解約はできません。
※1冊からでもご購読できます。

郵便はがき

料金受取人払郵便

倉吉局
承認
664

差出有効期間
2023年2月
7日まで
切手不要

6 8 2 8 7 9 0

鳥取中央農業協同組合

総務部 広報課 宛

倉吉市越殿町1409

住所	
氏名	
電話番号	

※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。